

施策名	目標7-4 環境保健に関する調査研究						
施策の概要	健康被害をもたらしている可能性が指摘され、国民的な関心は高いが因果関係は科学的には明らかにされていない種々の環境因子について、調査研究を推進する。また、既に明らかになっている知見について、一般に分かりやすく情報提供を行い、必要な対処等を行うよう意識啓発を進める。 ①花粉症についての情報や花粉の飛散予測等について、一般に情報提供を行い、花粉症の発症・増悪の予防を進める。 ②黄砂の健康影響についての実態を明らかにし、必要に応じて適切な対応を検討する。 ③熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について、科学的な知見を収集し、一般に普及啓発を行う。						
達成すべき目標	花粉症、黄砂の健康影響、熱中症や紫外線、電磁界の健康影響について調査研究を進めるとともに、一般に普及啓発を図る。						
施策の予算額・執行額等	区分		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求額
	予算の状況 (百万円)	当初予算(a)	6	35	33	27	30
		補正予算(b)	0	0	0	0	
		繰り越し等(c)	0	0	0	0	
		合計(a+b+c)	6	35	33	27	30
執行額(百万円)		16	39	30			
施策に関係する内閣の重要政策(施政方針演説等のうち主なもの)	施政方針演説等の名称		年月日		関係部分(抜粋)		
	-		-		-		

測定指標	花粉飛散の予測モデルの 1 精緻化及び花粉症についての普及啓発の進捗状況	基準年度	施策の進捗状況(実績)					目標年度
			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
		-	-	-	-	-	-	-
		年度ごとの目標値						
	黄砂による健康影響についての調査研究の進捗状況	基準年度	施策の進捗状況(実績)					目標年度
			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
		-	-	-	-	-	-	-
		年度ごとの目標値						
	熱中症の原因及び予防等についての普及啓発の進捗状況	基準年度	施策の進捗状況(実績)					目標年度
			18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
		-	-	-	-	-	-	-
		年度ごとの目標値						

施策に関する評価結果	目標の達成状況	昨年度から進捗が見られたが、更なる推進のためには以下の課題が残った。
	目標期間終了時点の総括	○花粉症については、花粉総飛散量や花粉飛散開始・終息時期の予測モデルの精緻化が進むとともに、新たに飛散ピーク時期の予測を実施する等の進捗があった。しかし、一部には予測精度が十分に高いとは言えないものもあり、今後更なる精緻化を進める必要がある。 ○黄砂の健康影響については、知見の収集を進めるとともに、疫学的手法を用いた分析を行うためのデータの収集を行った。今後は、収集したデータに基づき、更に分析を行い調査研究を進める必要がある。 ○熱中症についての知見の収集を進めるとともに、マニュアル等を用いて更なる普及啓発を進めることができた。しかし、猛暑により熱中症による死者が大幅に増加する等の状況もあり、今後更なる普及啓発を進める必要がある。

学識経験を有する者の知見の活用	専門家による検討会を開催し、花粉飛散予測の精度向上のための予測式見直しや、適切な情報提供の方法について、意見聴取を行い反映。
-----------------	--

政策評価を行う過程において使用した資料その他の情報	平成22年度花粉症に関する調査・検討業務報告書 平成22年度黄砂による健康影響調査検討業務報告書 平成22年度熱中症対策に係る普及啓発資材作成業務報告書
---------------------------	--

担当部局名	環境安全課	作成責任者名	早水 輝好	政策評価実施時期	平成23年 6月
-------	-------	--------	-------	----------	-------------